



ネットワーク レジリエンス プラットフォーム NetOps とスマート・アウトオブバンドの組み合わせ

仮想化された世界では、IT 運用の強度はネットワークの強度を超えることはありません。ハードウェアがダウンしても、堅牢な DevOps 展開は機能せず、ネットワーク エンジニアが復元力のあるバックボーンを維持しなければ、クラウドベースの企業はすぐに機能しなくなってしまいます。

復元力のあるネットワークでは、通常、重要なデバイスにいつでもリモート アクセスできます。また、エッジ ロケーションを監視し、修復するための、安全で独立した管理プレーンもあります。Smart OOB™ は、世界中の企業にこのような復元力を提供し、あらゆる場所でのプレゼンスと近接性を提供しています。そして Opengear は、アウトオブバンド ネットワークに NetOps 機能を追加し、ネットワーク エンジニアに Docker ルーチンを使用して標準プロセスを自動化するツールを提供しています。

Opengear ネットワーク レジリエンス プラットフォームは、Lighthouse 管理ソフトウェアをベースに構築されており、NetOps コンソール サーバーやその他の Opengear アプライアンスのリモート ネットワークの調整をします。ネットワーク デバイスへの安全なアクセスを提供すると同時に、独立した管理プレーンを介して一般的な NetOps プロセスを自動化します。標準的なアウトオブバンド機能を超えた一般的なアプリケーションには、機器の安全な導入とプロビジョニング、そしてあらゆるエッジ ロケーションでのリモート IP デバイスへのアクセスなどがあります。

イノベーション: NetOps コンソール サーバー

ネットワーク レジリエンス プラットフォームには、より高度な自動化を必要とする場所に対応する新しい NetOps コンソール サーバーと、既存の Opengear スマート・アウトオブバンド アプライアンスの範囲が含まれています。

NetOps コンソール サーバー (OM シリーズ アプライアンス) は、x86 CPU 上で動作し、市販の Docker アプリケーションをサポートして、さらに TPM 2.0 チップを使用して組込式の物理セキュリティ機能を備えています。高度な自動化が必要のない標準導入の場合、ACM7000 レジリエンス ゲートウェイは小規模なエッジ ロケーションに最適です。IM7200 および CM7100 アプライアンスは、データセンターや高密度の衛星ロケーションでの使用に最適化されています。

Opengear のスマート・アウトオブバンド テクノロジーに加えて、オープン アーキテクチャの NetOps 自動化ツール (Docker サポート、Python ランタイム環境) を使用することで、コンソール ポートへの安全なアクセスを提供すると同時に、堅牢な管理プレーンも作成できます。NetOps コンソール サーバー上のスマート・アウトオブバンドには、既存のセルラー フェールオーバー機能および自動応答機能に加えて、VLAN サポートと自動ポート検出が含まれるようになりました。



お客様のネットワーク向け NetOps: DevOps に必要な復元力

Opengear のネットワーク レジリエンス プラットフォーム

すべてのサイトに Opengear コンソール サーバが設置され、Lighthouse ソフトウェアによって集中管理されているため、ネットワークのあらゆる部分を可視化することができます。Opengear のネットワーク レジリエンス プラットフォームは、重要なネットワーク デバイスへの安全なリモートアクセスを独立した管理プレーンを介して提供します。また、主要な場所で NetOps プロセスを自動化して、コンソールポートを越えてサービスを拡張する機能も備えています。

スマート・アウトオブバンドは、緊急アクセスのためのものだけではありません。Opengear プラットフォームは、Day One のプロビジョニングおよび日常的な使用に対応し、本番ネットワークがダウンした場合には、信頼性の高いアクセスを提供します

Lighthouse 管理ソフトウェア

Lighthouse Enterprise は、ネットワーク レジリエンス プラットフォームの中央管理ポータルであり、すべての Opengear アプライアンスとサードパーティのアプライアンスを調整して、NetOps 自動化のエンジンとして機能します。Lighthouse は Java を使用していないため、標準の RESTful API を使用して外部ワークフローと簡単に統合することができます。



NetOps コンソール サーバー

新しい Opengear OM アプライアンスは、スマート・アウトオブバンド コンソール サーバの機能と NetOps Automation の柔軟性を組み合わせています。標準的な Docker コンテナを実行できる x86 チップと、新しいリモート ロケーションでトラッキングが可能な安全なプロビジョニングを提供する組込式 TPM モジュールにより、これらのネットワーク管理アプライアンスは、インフラストラクチャ全体でかつてないレベルの可視性とコントロールを実現しています。

コンパクトな OM1200 アプライアンスは、4 個または 8 個のシリアルポートと 4 個または 8 個のポート組込型イーサネット スイッチを備え、安全なエッジ展開向けに設計されています。認定済みグローバル 4G-LTE モジュールは、Lighthouse ソフトウェアを介した NetOps 自動化ツールのサポートにより、あらゆる場所で安全なアクセスを実現します。

OM2200 アプライアンスは、1RU フォーム ファクターおよび 16、32、または 48 個のソフトウェア選択可能なシリアル コンソールポートを備え、データセンターおよび高密度ロケーション用に構成されています。小型のユニットと同様に、Docker コンテナと Python ランタイム環境をサポートしており、Lighthouse ソフトウェアを使用してさまざまな自動化ルーチンを実行することができます。



スマート・アウトオブバンド コンソール サーバー

Opengear の幅広いコンソール サーバはすべて、スマート・アウトオブバンド テクノロジーを基礎としています。セルラーへのフェイルオーバーを組み込むので、重要なアプリケーションの動作を維持し、インシデントが発生したときに通知する応答性の高いアラートを出し、さらに地域の問題を予測する環境モニタリングをすることができます。これらは、高度な NetOps 機能が不要な場合に最適です。

ACM7000-L レジリエンス ゲートウェイは、グローバルなセルラー モデムを備えた小型のアプライアンスで、支社やエッジロケーションに最適な商品です。データセンターや大規模な IT 導入環境では、IM7200 インフラストラクチャ マネージャーを 48 台のシリアル デバイスに接続することで、重要な IT インフラストラクチャへの安全なリモート アクセスを提供します。CM7100 コンソール マネージャーでは、8 ~ 96 個のシリアル コンソールポートを提供しており、Cisco® 製シリアル コンソールへのストレート ケーブル配線が最も簡単な展開方法です。



Opengear ネットワーク レジリエンス プラットフォームは、ネットワークのご要望に合わせて、さまざまな機能を提供します。スマート・アウトオブバンドと NetOps の組み合わせ。

今すぐデモを予約しましょう